

2021年度 授業改善アンケート第2Q/前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	教員コメント
法学入門 (M)	2Q	青山 浩之	法学入門は、第2クォーター火曜日4講目と金曜日5・6講目の科目で、履修者50名、平均出席者45名（平均出席率91%）という状況で、回答者が48名であった。第1回から第4回は遠隔授業により講義を実施。遠隔授業では、パワーポのスライドの画面共有で講義を進め、印刷用資料を配信。設問8「理解度」、設問10「満足度」においては好評価を受けました。自由記述では、配布資料の教材・パワーポのスライドがわかりやすい、などの評価を受けました。これらも理解を深められるように、興味を持ってもらうように工夫していきたい。
法学入門 (S・D・A)	2Q	大倉 司	配付資料がわかりやすかったという意見の反面、スライドが見づらかったという声を頂きました。授業展開のあり方を工夫・改善したいと思います。
政治学入門	2Q	金子 敏也	講義中、私語をすることは欠席するより悪質です。真面目に聞いている他の学生の邪魔をしないでください。
日本国憲法	2Q	青山 浩之	日本国憲法は、第2クォーター水曜日1講目と金曜日4講目の科目で、履修者87名、平均出席者75名（平均出席率86%）という状況で、回答者が82名であった。前年より履修者30名減少し、平均出席率が5%減少と出席状況が悪く、履修中止者が例年より多かった。第1回から第4回は遠隔授業により講義を実施。遠隔授業では、パワーポのスライドの画面共有で講義を進め、印刷用資料を配信。S評価は5%増加したが、A評価が6%、B評価が16%減少した。出席状況の改善が必要で、興味を持ってもらうように工夫していきたい。
数学入門 (1年生)	2Q	横山 哲也	板書、発声及び机間巡視の工夫した講義の実施
数学入門 (2年生)	2Q	横山 哲也	板書、発声及び机間巡視の工夫した講義の実施
基礎英語Ⅰ (M-1)	2Q	信濃 吉彦	学生の理解度をもっと頻りに把握しながら授業を進めていきたい。
基礎英語Ⅰ (M-2)	2Q	岡島 徳昭	学生の理解度を固りながら授業を進めていきたい。
基礎英語Ⅰ (M-3)	2Q	石田 暁子	オンラインでの課題指示がうまく伝わっていないように感じた。対面では一人一人の理解度を把握するためにできるだけ教室内の見回りをしましたが、一対一での時間を多くかけることができなかったのが残念です。
基礎英語Ⅰ (M-4)	2Q	井坂 肇	授業の構成や内容、ペー配分は適切に行っていたように思う。英語が苦手な学生にとっても授業を受けやすい環境を整えることが出来た。授業の理解度もアンケートやテスト結果を見ると高かったように思う。しかし授業の中で既存の知識を運用していくような取り組みはほとんど出来ず、応用力を高めることが出来たかはこのアンケート結果からは判別できない。この部分に関して次回小テスト等で確認していきたい。
英語入門Ⅰ (M)	2Q	石田 暁子	まず、教科書を購入していなかったために履修中止をした学生が多かったことが次年度への課題となった。次に、コメントで「留学生への差別があった」というのがあったが、気にかけることはあっても差別はしていないと断言する。別のコメントで「教室が暑く、マスクをしての授業は辛い」とあったが、確かに大変だったことを認める。
英語入門Ⅰ (S)	2Q	横山 肇	理解度と満足度が概ね良好で安心している。ただ、英文法と読解の説明と練習はおおよそうまくいったと思うが、試験的に取り入れた聞き取りの練習はさらに工夫と改善が必要と思う。合わせて、ICTの活用も工夫をしたい。
中国語入門Ⅰ	2Q	村山 豊	今回は履修した学生の人数が多く、またコロナ禍でもあり、最初に学ぶべき発音の発声練習が十分にできませんでした。アンケートをみると、授業の進め方や課題の出し方に問題はなかったようです。授業中、学生たちにもとても真面目に講義を聞いてくれました。簡体字の読み方があまりできない状態で中国語を学ぶことはとても難しく学生たちがよく私の授業についてきてくれたと感謝しています。
日本語Ⅰ (留学生)	2Q	高橋 真弥	ご回答ありがとうございます。より分かりやすい授業にすべく、改善していきます。
日本語Ⅲ (留学生)	2Q	佐藤 恵利	今後も文法解説や使い分けの指導がより分かりやすくなるよう工夫し、受講している学生が全員JLPTN2レベルまで日本語能力が向上するよう努めてまいります。
社会保障Ⅱ	2Q	大倉 司	わかりやすい、わかりにくいという両方の意見を頂きました。国家試験指定科目ということでの制約もありますが、すべての履修生に理解してもらええる授業内容・展開をさらに工夫したいと思います。
心理学と心理的支援	2Q	百澤 英里	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございます。 該事情により、オンラインと対面を同時に行いました。回線の不具合等、進行時にトラブルがありましたこととお詫びします。 毎回、授業後にコメントをいただけるなら、皆さんにとって良い授業になるように努力しました。 このアンケートでいただいたコメントを踏まえて、次年度の授業改善を行います。
権利擁護と成年後見制度	2Q	大倉 司	毎回、プリント資料を配付してほしいという意見を頂きました。教科書との併用についてさらに工夫したい思います。
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2Q	櫻井 美帆子	一部複雑だったかと思いますが、後期の高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱの授業でも、その部分が出てくるので、理解ができなかったら、遠慮せず聞いてください。反応の良い学生が多く授業がやりやすかったです。ありがとうございます。
就労支援Ⅱ・Ⅲ	2Q	轟山 明子	課題の提示ミス等でご迷惑をおかけすることがありましたが、今後はより確認を徹底し、皆さんの理解度・満足度の高まる授業を心掛けていきます。
更生保護制度	2Q	大倉 司	4年次の国家試験科目ということで国試対策としての授業を期待された方もいたと思います。その点は時間的な制約もあり十分ではなかったかと反省しております。
色彩環境論 (A)	2Q	北嶋 洋一	対面とオンラインの切り替え時に教材の変更が適切に行われていなかった感が否めない。特にオンラインでの講義は、学生の理解度のチェックが不足していたので今後に改めていきたいと思う。シラバスについては順調に進んでいたが、それによって置き去りにされた学生がいたかもしれない。臨機応変な対応が必要と感じた。
西洋美術史Ⅰ	2Q	金子 敏也	レジュメを書くも書かないも受講生の自由。授業内容を生かすも殺すも受講生次第であると思います。過去の天才たちの英知、工夫が美術史には隠れています。それを参考として生かせるか否かは、各個人の能力の一部であると思います。
建築材料	2Q	小笠原 健	この「建築材料」講義は、1年生では、建築学科の専門科目として数少ない科目の一つです。また、今後の建築技術者としての知識習得に向けての基礎的な科目になります。1年生の教養科目と比較はできませんが、専門科目では初めて聞く専門用語が多く、その理解には予習と復習が不可欠となります。定期テストでは基本用語を問う記述式の問題が多数出題していますので、日々の日常学習が十分ではない学生にとっては難しかったと思います。また、一度でも欠席した学生に落第者が多く、出席率も評価対象にしています。休み癖をなくし、日常学習の習慣化に期待した授業内容としていますので、出席重視はこの科目の特徴でもあります。また結果として、全出席学生の多くは、高得点で単位取得をしている状況となっていますので、1年次から、履修生には、学習方法を確立できるように一層の授業改善を今後とも進めていきたいと考えています。
建築構造力学Ⅰ	2Q	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございます。課題の難易度と教科書の難易度が合い過ぎるとの意見がありました。同程度の難易度では応用力が身につかないため、課題の難易度を高くしています。難しく感じた場合はチャット等で連絡してください。90%以上の方が授業全体に関して満足できたと回答がありました。第4Qの「建築構造力学Ⅱ」でも、個々の理解度を確認しながら進捗し、丁寧に進めていきたいと思います。
建築設備Ⅰ	2Q	君 興治	授業内容も見直し、年度に改善していくよう心掛けています。学生によっては深く学びたい学生もいるので、個別にも対応しています。今後も学生の理解度を確かめながら授業を進めていくようにしたいと思います。

建築施工	2 Q	小笠原 健	この「建築施工」科目は、建築士科目の主要科目であり、建築学専攻の必修科目でもあります。重要科目の一つであり、この講座で、在学中に将来の建築士対策を含め、建築学専攻の学生として、最低限の建築技術者としてのスキルを修得してもらいたいと考えています。また、学生アンケートでは概ね好評な結果が出ています。引き続き、実践型の授業形式により、履修者のスキルアップを目指して、今後も実施していきたいと考えています。
ポスターデザインI	2 Q	信濃 吉彦	学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
ポスターデザインII (SP)	2 Q	信濃 吉彦	学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
プレゼンテーション I (M)	2 Q	後藤 哲	予定外のオンライン授業もあり、資料の提示、授業展開等において混乱があったことはお詫びしたいと思います。チャットでのやりとりは意思疎通が上手くいかない場面はありますが、今後いっそう工夫をしたいと思います。
プレゼンテーション I (S・D・A)	2 Q	山本 一彦	大講義定での授業のためマイクを使用せざるをえず、受講者の反応を掴みにくいところが難点だった。授業満足度では概ね良好な結果を得たが、受講者の理解度向上に一層の留意が必要と感じている。
社会福祉の原理と政策II	2 Q	小早川 俊哉	専門用語が多すぎて出てくるようになり、覚えるべき内容も増えていきます。用語を単に暗記するのではなく、内容を理解して自身の言葉で語れるように入力できるようにしてください。今後は、ある程度の専門用語を理解しているものとして話が進んでいきます。忘れてしまったなら、何度でも見直しながら身に付ける習慣をつけてください。
精神保健福祉の原理 I	2 Q	西野 克俊	授業アンケートの回答ありがとうございました。全体の満足度として80%が「とても満足できた」と回答していただき、残りは「充分満足できた」が10%、「満足できた」が10%と全体的に満足していただけたと感じています。引き続き自己研鑽を深め授業を実施していきたいと思っています。
保育者論	2 Q	吉江 幸子	保育者論を受講していただき、ありがとうございました。保育士養成を規定している法律の理解など難しい時間もありましたが、ポスター作りを通して、グループで相談し、考えながら進めていく前向きな姿を見ることができて嬉しいです。1年生の皆さんが「保育が楽しい」と思ってくれるきっかけになったら幸いです。学年が進むにつれ難解な事も増えてきます。応用力も求められますので基礎知識の復習も交えながら今後も授業展開していきます。力の湧くコメントをたくさんいただき、有り難うございました。
心理学研究法	2 Q	吉澤 英里	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございました。毎回、授業後にコメントをいただきながら、皆さんにとって良い授業になるように努力しました。この授業は2020年度入学者まで対象となっていますので、次年度に開講されるかはわかりません。いただいたご意見をもとに、授業を改善していきます。
精神保健の課題と支援 I	2 Q	佐々木 智城	授業はパワーポイント、動画、資料等を用いた病院、学校臨床経験も交えながらわかりやすく進めています。授業では病院や施設、学校などで出ていく疾患について扱っています。疾患を抱えた人が生活上どのような困難を抱えているかなどが分かるように動画等でできる限り多様な資料を用いています。
地学	2 Q	湯部 斎	これからも、講義内容を充実していきたいと思っています。
知的障害教育 I	2 Q	藤根 収	比較的高い評価をいただきました。学生に分かりやすい授業を心がけ今後とも改善を図ってみたいと思います。
心理学実験法	2 Q	吉澤 英里	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございました。この授業は認定心理士の指定科目のため、資格取得者以外の受講生にとっては、かなり難い内容になっていたのではないのでしょうか。それでも、受講して下さったことに感謝します。このアンケートでいただいたご意見を踏まえて、次年度の授業改善を行います。
精神保健福祉の理論と相談援助の展開IV	2 Q	西野 克俊	授業アンケートの回答ありがとうございました。全体の満足度として38%が「とても満足できた」と回答していただき、「充分満足できた」が46%、「満足できた」が15%と全体的に満足していただけたと感じています。引き続き自己研鑽を深め授業を実施していきたいと思っています。
子どもの食と栄養	2 Q	溝淺 頼佳	概ね良い評価を頂きましたが、シラバスを見ていないという方が数名いました。授業開始時は遠隔授業だったので、シラバス説明回の授業を出席していた学生は画面共有した資料を見ながら説明を受けているが、欠席した学生には「シラバスをTeamsのファイルにアップロードしているのをご確認ください。」とアナウンスはしたのですが徹底は出来ていなかった結果だと思います。今後今回の件を含めて十分な配慮をして参りたいと存じます。
病弱教育	2 Q	高橋 健朗	的確な説明をより一層目指したい。
発達障害等教育総論	2 Q	堀川 厚志	引き続き、プレゼン資料のわかりやすさ、充実を図るとともに、伝わりやすさを考慮した話し方に努めるようにしたいと思います。
社会思想史 (M)	2 Q	金子 敏也	受講生は、教科書を購入するのは授業を取るべきの鉄則です。教師がいかに頑張ろうとも、受講生の意欲がなければ、講義自体が成り立ちません。
日本文化史 (M)	2 Q	牧之内 友	昨年度に比べて理解度や満足度はやや上昇しました。有難く思います。4年生の皆さんはコロナ禍の状況下での就職活動等さらに大変な中、出席してくれて感謝いたします。授業では普段はなかなか読むことのない古典を一読に読んでみました。学生のみなさんにおかれては、これを機会に、それぞれが興味関心を持った古典を読み続けてほしいと思います。
日本文化史 (S)	2 Q	牧之内 友	昨年度に比べて理解度や満足度はやや上昇しました。有難く思います。4年生の皆さんはコロナ禍の状況下での就職活動等さらに大変な中、出席してくれて感謝いたします。授業では普段はなかなか読むことのない古典を一読に読んでみました。学生のみなさんにおかれては、これを機会に、それぞれが興味関心を持った古典を読み続けてほしいと思います。
身体表現	2 Q	尾西 則昭	回答率100%ありがとうございました。設問中での内容にまだまだ不足しているところがあります。時間配分、興味や関心、内容についての理解度など、引き続き改善に取り組みます。ありがとうございました。
乳児保育 I	2 Q	吉江 幸子	乳児保育Iを受講していただき、ありがとうございました。3歳未満児の保育が重視されています。その中で乳児院と保育所を比較するためのポスター作りを通して、乳児保育に対する理解を深めることができたのではないかと思います。グループ内で相談し、他のグループとも整合性を図りながら進めていく姿は、周囲にも気を配る様さを感じました。学年が進むにつれ難解な事も増えてきます。応用力も求められますので乳児保育IIでは演技演習を展開していきます。コメントをいただき、有り難うございました。
基礎デザイン I	2 Q	林 春生	コロナ禍でレッスンに適さない教室で対応したのが、申し訳ない。3号館等の平らな机と広い場所(2部屋)が必要です。(50人を超える為) 入試時にレッスン試験が無いので、初めてレッスンを試みる生徒もいて、レベルの幅が広い。出来るだけ一人一人と対面してレベルに合った基礎を伝えていく必要があると感じている。
デザイン概論 II	2 Q	梅田 真紀	アンケートから、講義内容の要点を視覚的に提供すると、より理解が容易になり、満足度が高まるのではないかと分析したので、改善に努めたいです。
WEBデザインIII	2 Q	山藤 雅樹	概ね理解してもらえたようで、分かりやすい授業になったのではないかと思います。親身になって分からないところを丁寧に指導する姿勢は今後も継続していきます。ただ、何を目標とした課題なのか不明瞭な部分があったようで、この点はより明確にするようにし、目標意識を高めて取り組んでもらえるように改善していきたいと思っています。
CG技法研究 II	2 Q	北嶋 洋一	アプリケーションの操作講習的な内容が殆どだったが、他に同様の分野の授業がないせいか、学生たちは意欲的に取り組んでいたと思う。但し、表現に関する内容が盛り込めていないため、応用能力が育っていないことが、本授業の大きな欠点となっている。次年度は工夫が必要である。
デザイン概論 IV	2 Q	梅田 真紀	課題制作の時間配分に改善が必要だと考えます。技術的なフォローも十分行えるよう、努めたいと思っています。

4+779-デザインI	2Q	三上 いずみ	前年からの反省点を踏まえ課題出題方法を改善したことが、アンケート結果に反映したように思う。また、履修者が多かったが個別指導を重視したことが満足感につながったようである。今後は課題発表の方法とフィードバックの視点から授業改善をしていきたい。
4+779-デザインII	2Q	安藤 淳一	授業内容の時間配分に不満足な回答があった。授業内容により時間の過多が生ずるため、すべてを均等な時間配分で進めることが難しい場合もある。内容の吟味をし、時間配分の細分化等で今後対応したいと考える。
造形論I	2Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について、毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が「まとめ」の力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。
保育内容演習I(健康)	2Q	中村 則子	平常の理解や専門職としての関心をさらに深めたり広げることが困難なようです。身近な事象や具体的事例に重ね、伝え方や自ら体験できるような工夫が必要と考えています。
保育内容演習III(環境)	2Q	佐藤 慶知	いただいた意見を参考に今後の講義内容の改善に取り組んでいきたいと考えております。
保育内容演習IV(言葉)	2Q	吉江 幸子	保育内容演習IV(言葉)を受講いただきありがとうございます。保育所でオノマトペを取り上げた保育実践ができたことで、生き生きとした学びが展開された実感がああります。また、実施に向けた事前準備を精力的に行っていた部分が印象的でした。皆さんの授業満足度が非常に高かったのも頷けます。子どもの言葉の発達を促し言葉によって伝え共有する大切な時間を担う保育士の役割が理解できた幸いです。
保育内容演習V(表現)	2Q	吉江 幸子	保育内容演習V(表現)を受講していただき、ありがとうございます。今回は模擬保育という方法を取りながら、学生自身が保育士として表現する授業内容を展開しました。計画-実践-評価のPDCAサイクルを体験し、みなさんが気づいた点をお互いに伝え合い、自己反省としてメモする姿が印象的でした。40分間を自分が受け持つという責任もありますが、事前準備をしっかりすることで「慌てない対応」ができるということが学びが深まりました。その点でみなさんの授業満足度が高かったと思います。
建築士演習II	2Q	佐藤 向井	「資格が無ければ食えない」とも言われる建設業界でその根幹である建築士、その中でも大卒卒業後すぐに受験可能な2級建築士試験の学科II「建築法規」にターゲットを絞り、その傾向と対策を学ぶものです。コツコツ取り組むことが肝要です。
都市計画	2Q	安藤 淳一	シラバスにて提示した授業内容はつがなく終了し、課題研究も全員提出・発表までこぎ着けることができたのは履修者が積極的に授業に取り組んだ結果と言える。授業内容はどうしても情報が多くなるため、さらに内容を吟味し授業に望みたいと思う。
応用物理	2Q	伊藤 裕康	最初の方のオンライン授業での進み方が速すぎたようです。次回から気を付けるようにします。また、話している内容がわかりづらかったというコメントですが、物理学についてのさまざまな現象やエピソードを紹介したためだと思います。試験内容には関係ないことは伝えていたのですが、内容についてうまく伝えることができなかったと反省しています。
建築士のための基礎数学	2Q	横山 哲也	板書、発声及び机間巡視の工夫した講義の実施
鉄筋コンクリート構造	2Q	長森 正	授業評価アンケートのご協力ありがとうございます。提出課題の解説をしてほしいとの意見がありました。授業シラバスの制限もあり、課題解説の時間をとることはできません。本授業の課題はテキストに沿っての計算仮定を演習することが目的です。解説はテキストから判断してください。今後はTeams内のファイルに解答をアップするとともに、授業進行具合を考慮しながら改善します。また授業内容の録画はとも良いとの評価がありましたので継続していきます。課題量が多いとの意見がありましたが、授業習熟度のためとご理解ください。授業は80%以上の方が「満足できた」都の回答があり、理解度を確認しながら丁寧に進めています。
建築法規III	2Q	佐藤 善太郎	この科目では建築関係法令のうち建築基準法・建築基準法施行令を中心に構造・避難・防災に関する関係法令を中心に計算例を交えて学び理解するものです。とくに計算は筆算に慣れてください。
職業指導(M)	2Q	伴 秀実	良い評価を頂きました。就職を目指し「仕事」の意味を十分理解し、意欲を醸成する授業です。より実践に役立つ授業内容としていきます。
建築設備II	2Q	轟 興治	授業内容も良質し、年度に改善していくよう心掛けています。学生によっては深く学びたい学生もいるので、個別にも対応しています。今後も学生の理解度を確かめながら授業を進めていくようにしたいと思います。
建築積算	2Q	佐々木 哲之	建築積算は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが重要な科目である。質問の時間を多くすることに努めた結果、設問6でもとてもそう思う44%、十分そう思うが33%と高評価であった。しかし限られた中で理解度の確認時間と授業進度のバランスが難しく、設問1での不満が起っていると聞かれる。
日本経済史(M)	2Q	小林 大州介	アンケートにお答えいただき、ありがとうございます。日本経済史という科目は今回が初めての講義だったので、当方も試行錯誤でした。配布資料の件はもう少し考えなければなりませんね。みなさんが予習・復習しやすいように、今後も工夫を重ねたいと思います。熱意をもって当講義に臨んでくれた方もおられるようで、非常に有難いです。ありがとうございます。
日本経済史(S)	2Q	小林 大州介	アンケートにお答えいただき、ありがとうございます。日本経済史という科目は今回が初めての講義だったので、当方も試行錯誤でした。配布資料の件はもう少し考えなければなりませんね。みなさんが予習・復習しやすいように、今後も工夫を重ねたいと思います。
中小企業論	2Q	石山 玄幸	当該講義は、今年度より必修科目ということで、学生の理解を重視しながら時間をかけて講義を実施しました。学生からの評価も高く感謝します。ノートを書く量が多いとの意見がありましたが、今後、講義を傾聴して、重要な部分をメモするくらいの能力を身に付けて欲しいと願っています。
中小企業論(SP)	2Q	石山 玄幸	当該講義は、今年度より必修科目ということで、学生の理解を重視しながら時間をかけて講義を実施しました。学生からの評価も高く感謝します。ノートを書く量が多いとの意見がありましたが、今後、講義を傾聴して、重要な部分をメモするくらいの能力を身に付けて欲しいと願っています。
5+779-心理学	2Q	佐藤 和裕	スポーツ心理学に興味を持ってもらうことを意識して授業を行った。対面授業においてはより理解してもらうために、後半は視聴覚教材を取り入れた。又、毎回プロジェクター用のスライドをまとめたプリントを配布し穴埋め方式でプリントに書き込んでもらうようにしたが、書き込むスペースが小さすぎると言う意見・要望があったので今後さらに工夫し改善していきたい。

経営情報論	2Q	山崎 誠	(改善点) 現代の情報通信技術に直接つながらない開発史をカットしました。 基本的な論点を学習したあと、経営情報論を半導体、セキュリティなどカテゴリーに分けて解説しました。(反省点) 授業を聞いていけばわかる論点について資料閲覧可で試験を実施しましたが理解度ははかばかしくありませんでした。もう少しわかりやすい、資料作成と授業構成を考えます。
原価計算論	2Q	鈴木 重政	受講生はがんばって講義を受けてくれたと思います。ただし、『よく理解できました』『授業に満足した』と言う割りに試験の結果が芳しくありませんでした。試験の出題内容は授業で示した重要事項のみです。学生個人のネット環境の事情への配慮に限界があります。
基礎統計演習	2Q	河野 善文	計算方法等、今後も丁寧な板書をこころげたいと思います。
2次経済学	2Q	河野 善文	教室にそなえつけのボードマーカーが薄くて見えづらいときがあり、迷惑をかけました。途中から自分専用のマーカーを用意するようにしましたが、今後もマーカーについては注意したいと思います。
まちづくり論	2Q	松本 聡	「余り適切ではなかった」との回答があった。①授業の時間配分。②板書・パワーポイント等の使い方に際してさらに工夫することで、授業への満足度を一層高めたいと思います。
観光経済学論	2Q	五ノ井 壽一	より理解力を高めるように板書等創意工夫致します。
情報システム論	2Q	由水 伸	オンライン授業との差になりました。理解したかどうか、図を見て判断できないのは、やりづらいですね。コンピュータの話は「言葉」が分かりづらいです。「プリントがあれば良かったと思います」とありましたが、当初、pdfを同時配布することを考えていました。ですが、毎回オンラインで修了テストを行うので、その際に参考にされてしまう可能性があり、今回は配布しませんでした。#授業後にスライドを公開していましたが、復習はできたかと思えます。コロナウイルスが収束し、授業が平常に戻った際には配布を考慮します。基本的には、スライドと話のストーリーを楽しんで聞いてもらえればと思います。
3-4年ゼミ/ゼミ論	2Q	鈴木 重政	この科目は、財務会計や統計などの知識を有していることを前提に展開しています。それを理解せず履修を中止した学生が続出しました。一方で履修を継続した学生には十分な成果が得られたことと思います。
北海道産業史 (M)	2Q	石山 玄幸	当該講義は、主に教員免許の取得を目指している学生が多い科目であるが、16回の講義の中で北海道における主要産業の歴史について学ぶため、ノートを各分量が多くなる傾向にある。大学四年生の講義であることから、講義の中で疑問や関心を持ったところは、自分で調べるといふことも必要であるとする。
北海道産業史 (S)	2Q	石山 玄幸	当該講義は、主に教員免許の取得を目指している学生が多い科目であるが、16回の講義の中で北海道における主要産業の歴史について学ぶため、ノートを各分量が多くなる傾向にある。大学四年生の講義であることから、講義の中で疑問や関心を持ったところは、自分で調べるといふことも必要であるとする。
ケーススタディ	2Q	石山・信濃	受講生から高い評価を頂いたことに感謝します。当該講義は、経営学の専門科目の中で難易度の高い部類に入ると思われます。多様な視点で経営を見るという力を身に付けて、今後、社会人になった時に役立ててもらえたら幸いです。
外国語講読	2Q	岡島 徳昭	時事問題を中心に、双方向のコミュニケーションを取ることが出来た。今後は英語の運用をより実務的に進めていきたい。
人的資源管理論	2Q	伴 秀美	良い評価を頂きました。卒業し就職後あたりに必要となる領域の人材マネジメント論です。より実践を踏まえた授業内容としていきます。
地域情報論	2Q	猪尾 紀幸	最新の自治体情報、地域情報を用いながら学生の興味関心を高めるよう工夫を続けていきたいと思えます。講義中の提出課題では学生自身の出身地や居住地地域などの情報を収集、分析等を行うことにより地域(自治体等)の課題や取り組みへの関心・認識をより高める内容としていきます。講義を通じて「地域の将来」「地域活性化」「地域貢献」を地域若者、学生が各々考えることが重要であることを伝えていきます。
経営文化論	2Q	細川 光法	今年の猛暑で、窓等を全開にしても、暑すまはの間違いないです。今後、何らかの方策を検討したいと思います。また、より興味の持てる授業になるよう、鋭意努力したいと考えています。
経営文化論 (SP)	2Q	細川 光法	今後、より分かりやすく、興味の持てる授業にできるよう、鋭意努力します。
体づくり運動	2Q	細川 賢一	体力づくり運動の授業に対して、建設的な意見・要望を踏まえ、学生が、授業内容をより理解できるよう研鑽し、学生が将来、体力づくり運動を対象者に対して、指導計画を作成し・安全に適切な指導が出来るように授業を展開していきたい。
生理学	2Q	黒川 泰任	2021年度は講義時期が後期から前期に移動しました。第2四半期だったので、最も暑い季節に申しました。また、コロナ禍で通院講義もいくつかあり、学生諸氏には厳しい学習条件でしたが、出席率が高く(過去最高率)、皆さんに熱心に参加、聴講してもらいました。生理学はひたすらヒトの正常機能のしくみを追求する学問ですが、考えれば考えるほど、人間の機能は不思議すばらしく美しいものです。皆さんは必ず将来、運動に関係した勉強や指導・仕事につかれますので、この講義を取ったことを思いだして、「学問」として役立て、興味ある事柄を追求してみてください。
衛生学及び公衆衛生学	2Q	前上里 直	アンケート結果より、講義内容、説明の仕方、講義に対する教員の意識は概ね受講生に伝わったように思われた。グループワーク、ディスカッションの授業時間を多くとりたかったが、対面授業・学生同士の活動方法に制限され、交流方法について工夫していきたい。
精神保健 I	2Q	佐々木 智城	授業はパワーポイント、動画、資料等を用いて病院、学校臨床経験も交えながらわかりやすく進めています。授業では病院や施設、学校などで出会う疾患について扱っています。疾患を抱えた人が生活上どのような困難を抱えているかなどが分かるように動画等できる限り多様な資料を用いています。
ビジネス倫理	2Q	遠藤 均	WEBと対面が交錯し、やり方を試行錯誤する日々が続きましたが、このような状況下でよく頑張ってくれたと感謝しています。
教育課程論	2Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足できた」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「自分で考えることにより周りの人と共有し学び合うことができてとても充実しました。」「アクティブラーニングを実施し、学生の考える時間というものを確保したり、発表も行うことが出来たため、よりよい学習とすることができました。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
教育方法論 (M)	2Q	藤根 収	全体的に比較的高い評価でしたが、今後とも教職を目指す学生のニーズに応じてわかりやすい授業に努めたいと考えます。
教育方法論 (S・D・A)	2Q	坂上 俊樹	授業の中で、アクティブラーニングの実施がなかったことへのご指摘をいただいております。おっしゃる通りですが、このコロナ禍で、積極的なアクティブラーニングを実施することは控えました。その結果一方的な授業になったとおもいますが、このような状況下での実施の仕方については、検討したいと思います。授業時間の配分については、情報が多くなり、取り上げ方に軽重をつけて実施しましたが、今後は情報を精選し、より密度の高い授業になるよう努めます。一部の学生とのなれ合いがあることのご指摘をいただきました。そのような状況と受け止められることのないよう授業の進め方に努めたいと思えます。
教育相談 (カウンセリングを含む) (M・D・A)	2Q	佐々木 智城	授業はパワーポイント、動画、資料等を用いて学校での臨床経験も交えながらわかりやすく進めています。授業では学校で出会う可能性の高い悩みを抱えているケースについて扱うようにしているので、実際に役立つ内容だったと思います。
教育相談 (カウンセリングを含む) (S)	2Q	佐々木 智城	授業はパワーポイント、動画、資料等を用いて学校での臨床経験も交えながらわかりやすく進めています。授業では学校で出会う可能性の高い悩みを抱えているケースについて扱うようにしているので、実際に役立つ内容だったと思います。
特別な教育的ニーズの理解とその支援	2Q	荒木・藤根	比較的高い評価をもらいました。道立特別支援教育センターとの連携講義も設定し、それぞれの障害種の専門性をわかりやすく授業展開した結果であると考えています。また、できる範囲でグループワークなども取り入れ、学生が主体的に学ぶ授業を工夫しました。今後とも学生のニーズに応じて授業改善を図ってまいります。

情報基礎演習Ⅱ (M-1)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分数を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (M-2)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分数を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (M-3)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分数を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
情報基礎演習Ⅱ (S-1)	後期	由水・近澤	2021年度は、個人で習得した知識や技術の定着化と、クラス内への分数を目的とし、グループワークを導入したが、アンケート結果より、グループワークへの抵抗感も少なく、学修成績の観点からも一定の教育効果を得たと判断している。とはいえ、ICTへの低関心タイプや孤立タイプの学生に対するフォローが、今後の課題であると考え、次年度さらなる改善を試みる。
平面構成Ⅱ (A)	後期	中島 義博	ご回答ありがとうございます。学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
デッサンⅡ (A)	後期	西田 隼二	昨年の授業内容より格段に良くなっている。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
デッサンⅣ (A)	後期	西田 隼二	前半の遠隔授業が考える時間となった。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
デッサンⅣ (B)	後期	西田 隼二	前半の遠隔授業が考える時間となった。学生の技術の上達も顕著なものがある。基礎を習得するには十分な時間とは言えないが私語を慎み集中することで上達する学生が増えてきている。
基礎ゼミⅠB	後期	米野 宏	リモートによる授業回数が多くなり、準備不足から苦慮した。課題を出させることが多くなってしまったので、今後は工夫を入れたい。
基礎ゼミⅠB	後期	堀川 厚志	引き続き、一人一人とのコミュニケーションに努めて進めていきたいと思えます。
専門演習ⅠB	後期	遠藤 均	WEBと対面が交錯し、やり方を試行錯誤する日々が続きましたが、このような状況下でよく頑張ってくれたと感謝しています。
1/17表現基礎	後期	木下 泰男	特に、インテリアパス演習作図では、時間配分への対応に配慮し、より分かりやすく内容を改善し、説明していくよう努めて参りたいと思います。オブリック図法は概ね表現できていた。
絵画Ⅱ	後期	西田 隼二	短い期間の実技時間ではかなりの上達ぶりと感じている。
工業実習Ⅳ (中島)	後期	中島 義博	ご回答ありがとうございます。学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
建築史	後期	木下 泰男	テキストを事前に目を通して授業に臨んで戴いて、プリント中心に筆記(板書)を極力少なく説明に集中してもらえるよう工夫し、明瞭な声でゆっくりと説明に配慮していきます。急遽のネット授業では、不慣れもあり、改善に努めて参ります。